

大会名		第35回李相佰盃日韓学生バスケットボール競技大会															
2012年 5月18日(金)				開始時間		第1戦 14:00 ~ 15:30											
場 所		韓国 高陽市															
韓国学生選抜 (1勝0敗)				○ 92				30 - 11 15 - 16 20 - 16 27 - 13				● 56		日本学生選抜 (0勝1敗)			
No	氏 名	得点	3P	2P	FT	FOUL	No	氏 名	得点	3P	2P	FT	FOUL				
4	Kim Min-Goo	24	4	5	2	3	4	狩野 祐介	2	0	1	0	0				
5	Kim Ji-Wan	2	0	0	2	3	5	比江島 慎	0	0	0	0	2				
6	Lee Won-Dae	5	1	1	0	1	6	長谷川智伸	9	1	3	0	4				
7	Kim Jong-Bum	4	0	1	2	0	7	石川 海斗	8	2	1	0	1				
8	Bae Byung-Bum	2	0	1	0	0	8	鎌田 裕也	0	0	0	0	0				
9	Oh Chang-Hwan	4	0	2	0	1	9	熊谷 尚也	0	0	0	0	0				
10	Kim Su-Chan	4	1	0	1	0	10	岸本 隆一	5	1	1	0	1				
11	Lim Jong-Ill	10	2	2	0	2	11	永吉 佑也	12	0	5	2	2				
12	Kim Jong-Kyu	16	0	8	0	4	12	張本 天傑	8	1	1	3	5				
13	Kim Min-Wook	1	0	0	1	0	13	田中 大貴	12	2	2	2	1				
14	Jang Jae-Seok	14	0	7	0	2	14	河上 宗平	0	0	0	0	2				
15	Lae Seoung-Hyun	6	0	3	0	1	15	野本 建吾	0	0	0	0	0				
TOTAL		92	8	30	8	17	TOTAL		56	7	14	7	18				

### 【戦評】

第1戦目。高さで有利な韓国選抜がオフェンスリバウンドを大量に奪いセカンドチャンスからの得点や#4Kim Min-Gooの3Pシュートでリードを広げていく。日本選抜も早い展開からゴールを狙っていくが、なかなか得点に結びつかず45-27と韓国選抜が大きくリードし前半を終える。後半、韓国選抜のミスからチャンスを得た日本選抜が一時的点差を縮めるが、第3ピリオド終盤から韓国選抜に連続してゴールを決められてしまい、再びリードを奪われ万事休す。92-56と韓国選抜が快勝した。

第1ピリオド、中盤に#5Kim Ji-Wanのアシストから#12 Kim Jong-Kyuがダンクシュートをするところから一気に流れが韓国選抜に傾く。その後#4Kim Min-Goo、#12Kim Jong-Kyuを中心に韓国選抜が得点を重ね24-9と差をつける。対する日本選抜は、韓国選抜のディフェンスに阻まれなかなか得点が取れない。終盤に日本選抜#11永吉がシュートを決めるも日本選抜の攻撃はそこまで。30-11、韓国選抜に大差をつけられ第1ピリオド終了。

第2ピリオド、韓国選抜#4Kim Min-Gooが立て続けに得点を重ね、中盤には40-14とさらにリードを広げる。しかしその後韓国選抜が精細を欠いた隙に、日本選抜は#6長谷川の外角シュート、#11永吉のゴール下で得点を重ね詰め寄り、45-27と韓国選抜が18点リードし前半終了。

第3ピリオド、韓国選抜のミスから日本選抜#11永吉、#12張本が連続でシュートを決め、開始4分、33-47とビハインドを14点に縮めるが日本選抜の追い上げはそこまで。その後、韓国選抜は#14Jang Jae-Seokと#4Kim Min-Gooのインサイドや3Pシュートで攻め立て、リードを広げ、65-43とし最終ピリオドへ。

第4ピリオド、何とかして差を縮めたい日本選抜だが、シュートの確率が上がらずなかなか得点を決めることが出来ない。一方韓国選抜は#15Lee Seoung-Hyunがゴール下、#6Lee Won-Daeが外角シュートを連続で決めるなど、日本選抜は最後まで成す術が無く試合終了。韓国選抜は日本選抜を大きく突き放し、92-56と大差で勝利した。